

なぜ、いま 「大学生協 2030 Goals」なのか。

策定の目的

- ①「2020年に向けた大学生協アクションプラン」策定以降の大学および大学コミュニティの変化、社会状況の変化を踏まえ、大学生協の「使命」を改めて確認します（このことを組合員や大学・社会からみた「大学生協の価値」として表現し、併せて、価値を実現するために大切にす視点を（姿勢・態度）を明らかにすることにしました。
- ②大学生協が存続し大学コミュニティに貢献し続けるため、大学生協が2030年までに何を成し遂げるべきか、可視化された具体的な目標（Goals）として設定し、目標達成のための行動指針（Action Plan）を明らかにします。
- ③「大学生協 2030 Goals」を大学生協連・会員生協全体のものとし、それぞれが主体的に取り組むことで組合員・大学・社会への貢献を増大させ、21世紀中盤での大学生協の存在を確固たるものにします。

コロナ禍と大学生協

- ①上記の策定目的を確認後、新型コロナウイルス感染症の拡大が本格化し、大学と社会の状況が大きく変容し、大学生協は経営的にも組織的にも極めて甚大な影響を受けることになりました。
- ②これらのことを大学生協連第64回総会では、学生にとっての「3つの危機（暮らしの危機、学びの危機、コミュニティの危機）」と大学生協にとっての「3つの難局（経営の難局、コミュニティ形成の難局、生協組織の難局）」と位置付けました。
- ③こうした状況を踏まえ、大学生協連では、会員の経営と大学生協事業を「再生」し、組合員の暮らしの向上を実現するための「大学生協『再生』基本方針」を策定しています。

2030 Goalsへ

- ①コロナ禍による大学や社会の変化の多くは、近い将来に起きたと見られることが、前倒し、あるいは局所的に強調された形で起きているものです。
- ②いま、「大学生協 2030 Goals」を策定することによって、大学生協の価値と将来に成し遂げるべき目標（Goals）を確固たるものとして定めることは、確信をもって大学生協の「再生」を進めていくことにつながります。
- ③コロナ禍によって、「大学生協 2030 Goals」を策定することの意義は、より一層明確なものとなっています。
- ④そして「大学生協 2030 Goals」は、コロナ禍を乗り越えて、大学生協の「再生」（会員生協の「再生」と大学生協事業の「再生」を柱とする）を進めていくための指針となるものです。

CONTENTS

01 なぜ、いま「大学生協 2030 Goals」なのか。

03 これからの時代の変化は？そして、私たちの価値は？

- ・2030年に向けて予測される社会・大学・学生の変化、求められる大学生協の変化
- ・2030年に向けて守りたい価値、創造したい価値
 1. 守りたい価値
 2. 創造したい価値
- ・価値を実現するために大切にす視点を
 1. 組合員の参加と協同で事業とコミュニケーションを革新する
 2. 協同組合の価値と原則を中心に据える
 3. よりよい社会、よりよい大学づくりに貢献する

05 2030 Vision, Goals & Action Plan

1. つながりのプラットフォームとしての大学生協
2. 学びをサポートするネットワークとしての大学生協
3. 大学生協生活の頼りになるパートナー、セーフティネットとしての大学生協
4. 持続可能な社会実現のために実践し、発信する大学生協
5. 大学に頼りにされるパートナーであり続ける大学生協

（資料）【これまでに確認してきた大学生協のミッション・ビジョン・アクションプラン】

21世紀を生きる大学生協のビジョンとアクションプラン（2006年12月）

「協同」「協力」「自立」「参加」をキーワードに、21世紀を生きる大学生協の4つの「使命」と8つの「ビジョン」、ビジョン実現のための8つの「アクションプラン」を明らかにしています。

2020年に向けた大学生協のアクションプラン（2013年12月）

「学生や大学生協生活の変化への対応」「厳しい事業経営環境の克服」「協同組合の役割についての再認識」の観点からアクションプランを改訂しています。